

こんな学習会が開催できます

学校や学年など大人数での学習会



クラスや委員会・生徒会など
少人数でも



オンラインや放送室を使って



体験・ワークショップ



世界がもし100人の村だったら
世界をクラスや学年に置き換え世界の問題や不公平に気づくワークショップです。



水がめ運び体験

実際に水を入れた水がめを運ぶ体験をし、水が手に入らない世界の人々の暮らしを体感します。



人形抱き比べ体験

日本で生まれる標準体重の赤ちゃん人形と、栄養不良状態の赤ちゃん人形を抱き比べし、保健と栄養の大切さ学びます。



テーマに沿ったワークショップ

- 子どもの権利条約
- 地球レンジャーになろう
- 地球の食卓
- 貧困の輪 など



手洗いダンス

手洗いの大切さと手の洗い方を映像と音楽に合わせて「手洗いダンス」をおどりながら楽しく説明。正しい手の洗い方、衛生の大切さを覚えます。(幼稚園から低学年向け)



学習支援用の教材も ご利用いただけます

貸し出しでのご利用

神奈川県ユニセフ協会ではDVDやパネルなどの視聴覚教材の貸出をおこなっています。

お申込み

貸し出し教材リストをご参照のうえ、お電話で下記の事項をお伝えください。(貸出教材のリストはHPで紹介しています。)

1. 利用する教材名
2. 利用目的と期間(最長2週間)
3. 利用者氏名・住所・電話番号

一部の視聴覚教材はYouTubeでもご覧になれます。

問い合わせ先

神奈川県ユニセフ協会
TEL 045-334-8950 FAX 045-334-8951
WEB www.unicef-kanagawa.jp E-mail info@unicef-kanagawa.jp
〒231-0063 横浜市中区花咲町2-57ミシナビル201
受付時間:10:00~17:00 ※感染拡大防止のため、祝日を除く(月・水・金)

ユニセフライブラリー
貸し出しDVDで学習

ユニセフ学習会のご案内

コロナ禍でも世界を知る学びを止めない

少人数の学習会
委員会・生徒会など

オンライン授業
PC環境でつながる

持続可能な社会の 創り手を育てるために

▶ 学習講師による出前学習会
総合的な学習の時間や道徳、生徒会や委員会活動、PTAや地域のイベントなどに学習講師を派遣します。



かんたん! 申し込み方法

▶ 学習会当日までの流れ

① お申込み
同封の依頼書をFAX、もしくは神奈川県ユニセフ協会HPの専用フォームからお申込み下さい。
FAX 045-334-8951
HP 右記QRコードから



② ヒアリング
受け付けの内容とご希望内容のヒアリングをさせていただきます。

③ 内容のご提案
ヒアリングした内容をもとにプログラムをご提案します。

④ 開催!
※講師交通費および教材の送料(往復)はご負担をお願いいたします。

先生方・団体
からのご要望に
可能な限りお応えします

神奈川県ユニセフ協会へ
お気軽にお申し込みください

世界の問題や課題をユニセフの活動を通して学び 自分たちでできることを考える!



世界の子どもたちとユニセフの活動を知る

プログラム例

1. 導入
2. ユニセフってなあに?
3. 動画視聴「ユニセフと地球のともだち」
4. 世界の問題とユニセフの活動
水と衛生・保健と栄養・教育・保護・緊急支援
5. まとめと質疑応答



世界では約6秒に1人、5歳未満の子どもが命を失っています。



ユニセフの支援物資



現地の子どもたちの声や映像を豊富に取り入れながら説明します。

人権について学び考える

プログラム例

1. 導入(ユニセフと子どもの権利)
2. 世界の子どもたちの暮らし
「子どもの人権は守られている?」児童労働 教育
3. 動画視聴「水を得るために〜アイシャの一日」
4. 水がめ運び体験
5. ユニセフの活動
6. まとめと質疑応答



8時間かけ水くみをする少女のDVDを視聴



実際に水がめを運ぶ体験



実際に水がめを運ぶ体験
ゴミ拾いをして働く少年

SDGsを学び、自分たちにできることを考える

プログラム例

1. 導入(ユニセフと子どもの権利)
2. みんなの困りごとは何? 世界の困りごとは何?
3. SDGsって何?
4. 新型コロナウイルス感染症
5. 世界の環境問題
6. まとめと質疑応答



ユニセフの活動を切り口に世界の問題を学びます。



2030年までに達成すべき具体的な目標。自分事に引き寄せ考えます。

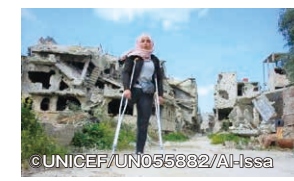
戦争・紛争の中で生きる子どもたちを知り平和について考える

プログラム例

1. 導入(ユニセフと子どもの権利)
2. 動画視聴「シリア紛争開始10年〜片足を失ったサジャさんの夢、その後〜」
3. 紛争の中で生きる子どもたち
紛争下の子どもたちの生活
子ども兵士の存在・地雷について
4. まとめと質疑応答



子どもたちは兵士として体と心に深い傷を負っています。



足を失っても希望を持つ少女の動画を視聴



地雷レプリカ

こんなプログラムを取り入れることも可能です



動画「100円の旅」を視聴し、ユニセフ募金が世界の子どものためにどう使われ役立つかを学び、募金の意義を理解し、活動につなげます。



絵本「ユニセフとえがおのひみつ」を使用し、実在する子どもたちをモデルに世界の子どものことを学べます。(幼稚園から低学年向け)

学習会を受けた先生と子どもたちの声



生徒たちの外国や世界に対する考え方に変化がありました。日本での自らの生活を振り返る機会になり非常に有意義な時間になりました。(中学生・多文化共生学習)

私たち教師自身が改めて学ぶことも多く非常に勉強になりました。地雷レプリカや、多くの映像を見て平和の大切さを考える充実した時間となりました。(小学生・平和学習)

オンラインでしたが想像以上に良い授業となりました。SDGsを理解するために世界の問題を学ぶことができ、今後自分たちに何ができるのか気づきにつながりました。(小学生・SDGs学習)

希望に沿ったプログラムを作成してもらえました。水がめ運びは子どもたちも児童労働の大変さ、人権の大切さを実感できたと思います。(小学生・人権学習)

世界では貧困で苦しんでいる子どもたちがいる。子どもたちの命が助かるのなら募金をしたと思った。皆で協力することが大切だと思う。(小学生・総合学習)

戦争や紛争のため、兵士になったり、学校に行けない子どもがいることを知りました。日本では当たり前だが世界では違い、自分たちの恵まれた環境がわかりました。(小学生・平和学習)

差別や児童労働など、知らなかったことがたくさんで驚きました。子どもの人権が守られていない事を調べてみます。(中学生・人権学習)

SDGsは、自分には関係ない事だと思っていたけど、自分の身近なことが関係しているのわかり、小さなことでも未来のためにできることしていこうと思いました。(中学生・SDGs学習)

